

令和7年10月18日(土)

観察会報告

亀城公園 自然観察会

出会った生き物、観察会の様子

テーマ：秋見つけ

天気が心配されましたが、曇り模様の中、観察会を実施することができました。

本日の『自然の宝物』を紹介すると、すぐに、集合場所で「木の実 一つ」を発見。「シャインマスカットふうのラクウショウの実、あそこにあります」すでに落下した実を手にとって、香りを楽しむ参加者もいます。

出発すると、赤と黒の実が目に入ってきます。サンゴの形から、名付けられた「サンゴジュ」です。直ぐ隣にはイスノキの実。近くから、甘い香りが漂ってきます。キンモクセイです。開いた花には、雄しべが2本。皆さんで、香りを楽しみながら、確認しました。

道路を横断して、除草後でも、幾らか残っていた草むらで、秋の虫たちが登場しました。「ツユムシ」「マダラバッタ」「ホシササキリ」「トノサマバッタ」・・・。捕獲したバッタ類は、観察用の瓶で、皆さんでシェアしました。「こんな虫がいるんですねえ！」きれいな赤色のアキアカネが、葉っぱの上で休んでいます。ウラギンシジミも登場です。「クモの面白い巣ですよ」ナガコガネグモの隠れ帯を、皆さんで、共有しました。「可愛いチョウがいます」セセリチョウ、ツバメシジミ、ウラナミシジミ・・・。「なかなかきれいですね」

アベリアの垣根では「かわいいアサガオ(ホシアサガオ)、咲いています。蔓が右肩上がりです」「ヘクソカズラは左肩上がりの蔓です」他の植物でも、蔓の巻き方を観察しました。秋の七草「ススキのオギ」を観察したり、「クズの葉っぱの、色々な形や、虫たち」を探したりしました。「この枝に、クズの実が付いていますよ」

嘴の太いモズが姿を見せ、盛んに縄張りを主張しています。山鳩が、飛んで行きました。日本書紀に登場する山鳩のお話「允恭(いんぎょう)天皇の息子・娘」の悲しいお話を、楽しみました。

「カモを見に行きましょう」の声。逢妻川では、クイズ「渡ってきた水鳥、何羽？」を確認しました。オオバンが、1羽。今年は、暑い夏が長引いたせいで、飛来が遅いようです。

公園の庭に戻って、お気に入りの葉っぱを集めて、「葉っぱの窓作りと作品のシェア」みんなで楽しみました。作品作りでは、集中して全く声が聞こえないほどでした。

次の観察会は、令和7年12月20日(第3土曜日)『<テーマ> 冬の訪れ』
刈谷市体育館南 東屋・時計塔前 9時30分集合



ツユムシ



アキアカネ



蔓の巻き方観察



ヘクソカズラ蔓



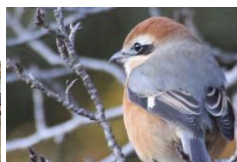
キジバト(ヤマバト)



集合場所



クズの葉・虫観察



モズ



ウラギンシジミ



作品づくりの様子



葉っぱの飾り窓作品

今後の開催【いずれも第3土曜日】
12月20日(土)：冬の訪れ
3月21日(土)：春との出会い

お問い合わせ

西三河自然観察会 中川 秀彦

TEL：080-5134-179

詳細は

亀城公園自然観察会

検索

URL <https://tsunagaru.genki365.net/G0001090/>

主催：西三河自然観察会・亀城公園自然観察会 / 後援：刈谷市教育委員会